

第2期（平成24年度）

# 総会資料



日 時            2012年4月22日（日）14:00～

会 場            北名古屋市文化勤労会館  
                    北名古屋市法成寺蔵化 60

日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区

地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区

第2期 総会次第

受付		総務委員会
開会式		組織委員会(運営)
開会の言葉		佐々副協議会長
国旗儀礼、国歌斉唱		コミッショナー
議長選出		
総会成立報告	定足数確認報告 (議員数 221 名) 出席 127 名 委任状 39 名	事務長
議案審議		
第1号議案	平成23年度事業報告	地区委員長、コミッショナー
	決算報告並びに会計監査報告	各運営委員長、会計係
第2号議案	平成24年度事業計画	地区委員長、コミッショナー
	並びに予算案の件	各運営委員長、会計係
第3号議案	地区規則一部変更について	事務長
協議会長挨拶		横江協議会長
閉会式		組織委員会
連盟歌斉唱		指揮 石川トレーニング委員長
国旗儀礼		中谷コミッショナー
閉会の言葉		船橋副協議会長

## 組織委員会

### 事業報告

1. 年間開催数 6 回（内 1 回は講演会を開催）
2. 追加登録フォーマットの整備
3. 加盟登録審査をコミッショナーグループと共同にて行なう
4. 地区誌第 1 号を発行
5. 地区 WEB の構築
6. H24 年度継続登録説明会の実施
7. H24 年度継続登録
8. 愛知連盟図画写真コンテストへの出品と奉仕
9. 当地区図画写真コンテスト作品展示

### 評価反省

- ・ 総務・登録・広報の 3 部会制として効率的な委員会運営ができました。
- ・ 組織委員のモチベーションアップ目的の講演会を開催し、多くの地区役員の参加があり一応の成果がえられました。来期も継続開催します。
- ・ 組織委員の任務は登録のみでなく、スカウト、指導者の獲得が主の任務である事の認識とその為の実行が希薄であった。
- ・ スカウト獲得の為、団内スカウト実数の把握が必要であるにも関わらず追加数のみカウントしていた、年間 4 回は実態把握して拡張計画推進としたい。
- ・ 組織委員の資質向上の為、団研その他の定型訓練への積極参加を推進します。

## スカウト委員会

### 事業報告

1. 運営委員会の開催と参加
  - ・ 地区運営委員会開催 年 6 回  
地区年間プログラムに従って、地区スカウト委員会を 6 回開催しました。  
この準備のために、正副スカウト委員長会議を 5 回開催しました。
  - ・ 県連スカウト委員会への参加  
4 回開催の委員会の総て参加し、内容を地区へ伝達しました。
2. スカウト対象技能章講習会の開催
  - ・ 4/3 看護章講習会
  - ・ 4/19-17 炊事章・野営章一泊講習会
  - ・ 5/28-29 救急章講習会
  - ・ 7/10 看護章講習会
  - ・ 11/5-6 野営章講習会
  - ・ 12/17-18 救急章講習会
  - ・ 1/22 茶道章講習会以上 7 回の講習会を開催しました。詳細は技能章講習会報告にあります。
3. 地区スカウトフォーラムの開催
  - ・ 9/25 スカウトフォーラムを開催しその代表を県連フォーラムへ 2 名送り出しました。
4. VS 新課程説明会
  - ・ 12/18 コミッショナーと共催にて掲題の説明会を開催しました。
5. 菊スカウト章進級スカウト  
五島花子（春日井 3）、金村莉歩（春日井 4）、古澤聖真（春日井 10）、  
高田実歩（春日井 2）、藤井聖大（小牧 2）、市村陸（小牧 2）、兒玉将宏（北名古屋 1）、  
平山凱野（春日井 5）、波多野春菜（春日井 3）、安藤シオン（春日井 3）、

木田信吾（春日井3）、岩崎茉莉子（小牧1）、田中早紀（小牧1）、村瀬颯馬（春日井8）  
 坂野智子（日進1）、平山恵太（江南3）、石岡暁雪果（大口1）、奥田貴穂（大口1）  
 伊佐治康希（日進2）、大竹眞翔（瀬戸5）、佐藤弘隆（春日井2）、石原裕次郎（春日井2）、  
 予定：曾羽勇登（春日井2）、太田遼河（春日井2）

以上24名、修得年月日順

6. 富士スカウト章進級スカウト

片桐啓（江南4）

7. 技能章修得者

24名（2012/02/04 現在）

評価反省

1. 2011年度事業目標に関して

① 総てのスカウトが同じサービスを受ける

各団のスカウト委員様には、知識の差、熱意の温度差が認められます。よって、この目標達成は成りませんでした。委員会開催を重ね、くり返し呼びかけて、この目標達成を図らねば成りません。

よって、この目標は、2012年度目標に引継ぎ掲げます。

② 技能章講習会は、地区を越えて交流を図る

2011年度は、旧地区の形態にて運営されることが多く、この目標も達成出来ませんでした。2012年度は、コミ（隊長会）の援助を頂いて、マニュアルの統一化を図り、この目標達成を果たす所存です。

よって、この目標も、2012年度目標に引継ぎ掲げます。

③ 個人進歩記録帳の作成徹底

アンケートでは、約50%でした。2012年度は、70%を目指します。これには、各団各部門隊長の協力が不可欠です。CS・BS・VS各部門のコミッショナーに強く働きかけて、目標達成を果たす所存です。

よって、この目標も、2012年度目標に引継ぎ掲げます。

2. 委員会運営に関して

26個団の運営委員が一堂に会しての会議では、協議事項にて発言する委員が少数に限られるのが現状です。アンケートを多用して出来るだけ多くの意見を吸い上げるべく努力しましたが、1.①に述べました各団委員の知識差・温度差が要因と思われる「発言無し」の委員がいらっしゃることは現実です。この委員会にて啓蒙を計る事が大事ですが、同時に、各団団委員長の指導を切に要望する次第であります。

トレーニング委員会

事業報告

1. 愛知連盟 トレーニング委員会への参画

(2011/5/11,7/13,10/12,2012/1/11,3/14)

2. 地区トレーニング委員会の開催

(2011/4/17,6/19,8/21,10/30,12/18,2012/2/19)

3. 地区指導者訓練の開設

定型訓練：年3回実施 定型外訓練：年9回実施

研修名称	日程	会場	受講者
BS講習会	2011/9/11	小牧市青年の家	42名
BS講習会	2011/10/2	尾張旭市スカイワードあさひ	18名
BS講習会	2012/3/18	江南市布袋北学習等供用施設	23名
BVS隊指導者研修会	2011/6/5	尾張旭市スカイワードあさひ	14名

救急法講習会	2011/7/10	レディヤンかすがい	22名
団指導者研究会	2011/7/24	江南市布袋北学習等供用施設	9名
DL研修会	2011/9/11	江南市布袋北学習等供用施設	37名
団指導者研究会	2011/10/30	小牧市中部公民館	48名
DL研修会	2011/11/20	尾張旭市勤労福祉会館	15名
ゲーム・ソング研修会	2012/1/22	ハーモニー春日井	28名
救急法講習会	2012/2/5	豊山町社会教育センター	12名
野営法研究会	2012/3/24/25	北名古屋1団野営場	13名

#### 4. 定型・定形外訓練参加促進及びその支援

研修名称	参加者
野営法セミナー	3名
安全セミナー	2名
プログラムセミナーBVS	1名
CS	4名
BS	1名
VS	3名
WB研修所BVS課程	11名
WB研修所 CS課程	5名
WB研修所 BS課程	10名
WB研修所 VS課程	6名
団運営研修所	9名
WB実修所 BS課程 基本訓練 修了者	8名 山梨 智恵 長久手1団 関本 和昌 春日井3団
WB実修所 CS課程 修了者	中川 大輔 北名古屋1団

#### 評価反省

- ・当初開催を予定していた団委員研修会(9/18) 野営法講習会(11/5/6)は日程調整ができず開催できなかったが、その他の研修会については多少の変更等があったが開催することができた。
- ・参加者に偏りが見受けられるので、指導者の資質を高めるためにも多くの参加を促したい。

#### 行事委員会

---

#### 事業報告

1. 県連行事委員会への出席  
(H23.5/13, 7/8, 10/14, 12/8, H24.1/28)
2. 地区行事委員会の開催  
(H23.4/17, 6/19, 8/21, 10/30, 12/18, H24.2/19)
3. 地区行事の運営、支援
  - ・緑の羽根募金 春季と秋季で実施(東日本大震災の影響)
  - ・スカウトの日 2011年9月19日
  - ・ビーバーラリー 2012年3月20日
4. ビーバーラリー実行委員会への参画

5. 第1回東海三県連盟合同野営大会(1TC)実行委員会の設立
6. 海外派遣面接(フィルモント派遣、韓日スカウトフォーラム)
7. 野営場リストの作成

#### 評価反省

- ・ 行事委員としての職務を知ってもらうことはできたと思う。次年度は、いかに行動にうつすかというところに重点を置く。
- ・ 地区初の行事であるビーバーラリーを実施することができた。一般参加者の数が思ったよりも少なかった。スカウト募集につなげるためにも、行事委員会だけではなく組織委員会と協力してやっていく必要がある。
- ・ 海外派遣申請の流れを作ることができた。この流れに沿って申し込みしてもらえるように周知する。
- ・ 委員会の中で、“海外派遣を知ろう”のコーナーを設けた。派遣参加者を招いて、プレゼンをしてもらうことで、内容を知ることはできたと思う。次年度も継続していきたい。
- ・ 地区備品の管理が出来なかったため、次年度の課題とする。

---

### 総務委員会

#### 事業報告

##### 1. 安全に向けた取組

- 1) 行事前の安全 → 団毎に温度差があり十分とは言えない事が判明
- 2) 事故報告 → 県連宛ての事故報告書が正しく運用されていない事が判明。  
又、事故発生時、正しい対処ができない団もあった。

##### 結果：

- ① 事故報告のルール改定を県連総務委員会へ提案、4月の理事会で可決すべく準備。
- ② 現存する地区内の事故マニュアルを参考に、上記①を盛り込んだ新マニュアルを年央までに策定

##### 2. 財政健全化の取組

- 1) 地区・県連盟 → 団で実施している各種活動をヒアリングし県連へ提案。
- 2) 団 → 財政は、団により環境が事なり、各団の運用や取り組みを共有するに留まる。

##### 結果：

- ① 県連総務委員会が主催し、24年末に地区対抗チャリティーボーリング大会を開催予定
- ② 共有した活動を参考に各団でアレンジし取り組む。

#### 評価反省

1. 事故報告の道半ば、県連総務委員会で最終決定に至らず。
2. 事故発生時の報告手続きが徹底されていない。
3. 財政健全化は、手つかず。
4. 具体的な目標が設定できなかった。

---

### 尾張東地区ローバース

#### 事業報告

1. 発足総会 (6/4)
2. 定例会 (6/4・8/28・10/22・12/23・2/26)
3. 奉仕活動 (22WSJ 直前集会及び壮行会奉仕 7/24  
尾張東地区スカウトフォーラム奉仕 9/25)
4. アクティビティ (野外料理大会 11/26~27・フロンティアムート 3/10)

評価反省

- ・発足した直後にも関わらず、この一年間で参加者を約 20 名集めることができたのは、他の地区ローバースの状況を鑑みると評価でた。また、愛知ローバース会議への参画、及び愛知県内のローバー活動への参加も積極的に行うことができ、ほぼすべての愛知連盟レベルのローバー活動において、尾張東地区からの参加者がもっとも多く誇れる。
- ・実施をされていて楽しいアクティビティができたのは良いことでした。また、奉仕活動も実施することができ、ローバースカウトの姿を他部門のスカウトに見せることができたのは、未来のローバースカウトを育てるという点において評価できる。
- ・「評価できる点」について人数をについて、尾張東地区のローバースカウト登録数を考えると、まだまだ少ないのが現状であり、今後対策を考えて活動計画が必要である。
- ・アクティビティ(活動行事)参加者が集まるものの、定例会になると人数が減ってしまうという反省点もあげられる。

コミッショナーグループ

事業報告

(1) 地区コミッショナー

①地区コミッショナー会議の開催

3回(4月24日、8月28日、12月24日)

②コミッショナー・運営委員長会議の開催

3回(6月26日、10月23日、2月26日)

③隊長ラウンドテーブルの開催 [数字は出席隊数/出席率(%)]

部門	隊数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
		5/15 5/22	7/17 7/24	9/19 9/25	11/20 1/27 11/19 (VSRS)	1/15 1/22	3/18 3/25
BVS	26隊	21/81	15/58	16/62	18/69	24/92	20/77
C S	26隊	23/88	18/69	18/69	20/77	20/77	22/85
B S	26隊	24/92	20/77	23/88	21/81	23/88	22/85
V S	26隊	18/69	14/54	17/65	21/81	21/81	16/62
R S	24隊	14/58	9/38	-	7/29	5/23	8/33

④加盟登録審査の開催

平成24年2月11日(土)、12日(日) 全26個団参加

⑤県連盟コミッショナー研究集会への参加

- ・地区コミッショナー会議 5回 [地区コミ対象: 4/19、10/18、1/24 全コミ対象: 7/9 (10名)、3/10-11 (8名)]
- ・部門別コミッショナー [BVS・CS: 11/18、BS・VS: 11/22、RS: 10/1、2/4]
- ・団担当コミッショナー研究集会 [6/26 地区コミ、団担当5名]

(2) 団担当コミッショナー

(凡例) 団委員会: 委 団会議: 会 育成会総会: 総

団名	訪問日	担当	団名	訪問日	担当
犬山5	9/5会 10/9総 9/10	高多	春日井2	10/2	林
犬山7	10/8	林	春日井3	9/3会	椎葉
大口1	7/23 11/26	串崎	春日井4	9/23総 2/5	中村
江南1	7/18 11/27	串崎	春日井5	12/25委 10/9会	高多
江南2	8/27、11/26	小林	春日井8	8/11	林
江南3	9/17会 9/11	高多	春日井10	6/4委 1/28団	椎葉

江南4	10/15	林	尾張旭1	9/7	串崎
岩倉1	7/18、12/19 3/19	小林	瀬戸1	8/6、12/3	小林
北名1	10/17委 8/22 11/12	高多	瀬戸5	7/13団 1/11団 3/21団	椎葉
北名2	9/17、1/21、3/17	林	瀬戸6	9/3 10/22 総	中村
清須1	10/14	串崎	長久手1	10/5会 2/21会	椎葉
小牧1	5/12,5/26,7/21,9/15,11/19	中村	日進1	9/25 10/29	串崎
小牧2	10/2会・委	高多	日進2	9/4	小林

訪問者は、担当を中心に複数の場合もある。

#### ②継続登録団審査への参加

- ・各団の現状を把握して、審査時の参考資料とする項目を選択した。
- ・審査に参加して団委員長をはじめとする団の関係者と意見交換をした。

#### ③地区コミッショナーと連携した課題に対する積極関与

- ・団担当コミッショナー間で適時話し合い、各団の現状を地区コミッショナーに報告した。
- ・団及び地域で取り組んでいる課題に対しては、その活動の展開状況に応じて参加し、協力した。

#### ④団委員の役務遂行能力の向上の為の支援活動

- ・分担した団に対しては、会議等の場で出来るだけ役立てられる情報の提供などをしてコミュニケーションに努めた。
- ・団委員研修会に対して、準備の段階から実施まで支援協力した。
- ・各団の団委員に対して、必要に応じて他団の団委員会等の見学を促し、団運営の参考情報が得られるよう協力した。

## 2 評価反省

### (1) 地区コミッショナー

- ・RS部門を除き各部門年間6回（RS部門は5回）のRTを開催した。RTに対する各エリアの意識が異なる中、その方向性や内容を模索した1年であった。地区内で統一した見解を持って運動の発展を議論できるまでの段階になく、メンバーを見知ったことが今年度の進歩であった。
- ・互いに顔を知らないところから始まった団担当の役務は、担当コミの努力により各団との距離を縮め、今後地区内の各団が相互に活性化するために必要な関係の礎を築くことができた。

### (2) ビーバー部門

- ・年間を通して各回毎に課題を行う予定だったが、後半のRTはラリーの話が中心になってしまった。
- ・新地区になったばかりでRT全体を把握できない状態でBVSラリーの開催は大変なことが多かった。来年度は隊長たちが中心になり、RTが開催できるようにしていきたい。

### (3) カブ部門

- ・第1回RTにて年間の進め方、グループワークの際のテーマ（ニーズ）を決め、それに沿って毎回RTを進めた。
- ・RT開催が各隊長の自己研鑽にどのようにつながったか、各隊のプログラムにどのような影響を与え始めたかをアンケート集計し、各隊のレベルアップに繋げたい。

### (4) ボーイ部門

- ・連絡・報告事項ばかりになり、各団の情報収集までにはいたらなかった。
- ・指導者のニーズを取り入れた信仰奨励章・進歩等のテーマを元にRTを進めた。
- ・今後はRTにおいてグループワークを行い各隊の現状・計画書等の内容を検討し、スキル訓練等を行い地区内の隊活動・指導者のレベルを上げ、菊スカウトを増やし、VSへの上進率アップを目指し、中途退団を防止する。

### (5) ベンチャー部門

- ・VS進歩プログラム改定の指導に努め、一定の理解を得られた。スカウトの新進歩課程に対する状況の把握にはしばらく時間を要する。
- ・地区野営法・炊事章についての統一的是指導方法についてRTで協議をし、実施に移す方向に進んでいる事は評価できる。

## (6) ローバー部門

- ・ラウンドテーブルの全6回開催のうち5回を開催、1回が未開催となった。正コミや他の副コミとの調整で未開催にならぬように配慮が必要であった。
- ・地区ローバースやアドバイザー方にもRTに参席して頂き、活動の事例報告や生の声を隊長方に届けることができたので、他団への情報発信等は来期も継続していきたい。
- ・出席者が固定化され、参加団に偏りが生じた。ベンチャー隊長兼務の方への配慮とし、開催日時をVS部門と調整して参加促進を検討したい。
- ・地区ローバースの活動については、初年度ということもあり検討すべき事が明確となってきた。アドバイザーとの協働で支援を継続したい。

## (7) 団担当コミッショナー

- ・統合の初年度でもあり、各団の現状把握に努めた結果として団毎の状況を取りまとめることができ、次年度の活動に活かせることになった。
- ・開始時点で団担当コミッショナーが各々持っていた日程と訪問先の団の日程が重複することが多く、調整が困難であった。

## 事務局

---

### 事業報告

- ① 愛知連盟 事務長会議  
年3回 23/7/9、 10/18、 24/3/11
- ② 尾張ブロック会議
- ③ 地区委員会／団委員長会議の招集開催  
地区委員会 23/5/8, 7/10, 9/4, 11/13, 24/3/11  
団委員長会議 23/4/9, 6/11, 8/20, 10/8, 12/10, 24/2/11
- ④ 会議資料作成などの事務作業  
県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化
- ⑤ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理

### 評価反省

- ① 事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行うことができた
- ② 情報展開において諸事項について遅滞なく各団当で遅滞なく展開することができたが、各運営委員会との連携不足により重複配信する情報があり各位に迷惑をかけた感があり、次年度の展開を考慮しなくてはならない。

一般非公開

(尾張東地区関係者で閲覧希望者は直接事務局会計までご連絡ください)

第2号議案

平成24年度事業計画並びに予算案の件

## 地区運営方針

- 1 質・量とも充実した地区をめざす
- 2 実効性のある地区運営をめざす
- 3 「第1回東海三県連盟合同野営大会」の成功をめざす

地区は、「より良き社会人となるべきスカウトとそれを支える指導者の献身的な奉仕により、地域と共生して存在するものである。」との考えのもと、「スカウト」、「指導者」、「地域」を三位一体として捉え、運営していくこととする。そのため、以下の事項を実施する。

(1) スカウトに対して、より良きサービスを提供する。

- ① スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施  
(各団は、当該地区青少年100人に0.8人のスカウトを確保を目指す)

23年4月	実績	1,166名
24年4月	実績	1,103名
25年4月	目標	1,350名(100人に0.70人)
26年4月	目標	1,450名( // 0.75人)
27年4月	目標	1,550名( // 0.80人)
- ② 「班(組)活動のできる」団に向けた対応を推進(団の統廃合を含む)
- ③ 海外派遣等のグローバルな活動への参加支援
- ④ 全ての団から、「菊」「富士」取得者を目指す
- ⑤ 「第1回東海三県連盟合同野営大会」に向けた対応

(2) 地域と共にスカウト活動があるとの考えのもと、地域との連携を強化する。

- ① 市町村単位の地域行事については、地区としての対応も検討
- ② ラリー等の行事において、スカウト年齢の一般参加者の参加を推進
- ③ 地域内各種団体との連携(広報活動)を推進
- ④ 地域内青少年を対象とした行事の開催

(3) 指導者の資質の向上を図る。

- ① 研修所、実修所への参加支援
- ② 実務研修を盛り込んだ定型外訓練の実施
- ③ 若手指導者の育成（ローバースカウトへの支援）
- ④ 団運営充実のための研修の実施（団委員研修所への参加奨励）
- ⑤ 各種会議の実効性確保  
隊長会および運営委員会の充実（研修の場としての活用）

## 組織委員会

---

### 事業目標

- 1、組織委員の意識改革進め、募集活動を展開して全団のスカウト数を前年度比プラスとする。

### 事業計画

1. 団内編成表を4半期毎に見直ししてスカウト・指導者の獲得を推進する。
2. 組織委員のスキルアップの為、団運営研修所履修率向上を図る。
3. 地区誌を年間、3回発行する。地区WEBの拡充、運営
4. 募集イベントの情報交流を進め、団の企画力アップ
5. 講演会の継続開催
6. 愛知連盟図画写真コンテストへの出品と奉仕
7. 当地区図画写真コンテスト作品展示

## スカウト委員会

---

### 事業目標

- ・ スカウト一人ひとりの進歩に配慮し、一人でも多くのベンチャースカウトが富士章に、一人でも多くのボーイスカウトが菊章に進級できるようにする。（県連目標）
- ・ 総てのスカウトが同じサービスを受ける（前年目標の継続）
- ・ 技能章講習会などの運営委員は旧地区を越えて交流を図る（前年目標の継続）
- ・ 進歩個人記録の作成徹底（前年目標の継続）
- ・ 団面接会開催の徹底
- ・ 各隊は、班制教育の徹底をする。（県連目標）

### 事業計画

1. 技能章講習会の開催
  - ・ 看護章講習会 2012/04/01
  - ・ 炊事・野営章講習会 2012/04/14-15
  - ・ 救急章講習会01 2012/05/26-27
  - ・ 看護章講習会 2012/07/08
  - ・ 炊事・野営章講習会 2012/11/03-04
  - ・ 救急章講習会 2012/12/08-09
  - ・ 茶道章講習会 2013/01/20から3回程度
  - ・ 看護章講習会 2013/04/07
  - ・ 炊事・野営章講習会 2013/04/20-21
  - ・ 看護章講習会 2013/07/14
2. スカウトフォーラムの開催  
日程は未定ですが、9月県連フォーラム開催の予定ですので、7月が妥当と思考します。
3. 宗教章講習会開催  
日程は、2月or4月スカウト委員会にて決定します。
4. 地区スカウト委員会の開催  
地区年プロに従って開催します。

5. 県連スカウト委員会への参加  
 県連事業計画に従って会議に参加すると共に、開催事業・救急スタッフ講習会などの事業サポートを行います。

## トレーニング委員会

---

### 事業目標

- ・指導者の資質向上を目標とし、各種研修所への参加と地区内定型・定型外訓練への参加を促進する。

### 事業計画

1. 愛知連盟 トレーニング委員会への参画  
 年5回 (2012/5/9,7/11,10/10,2013/1/9,3/13)
2. 地区トレーニング委員会開催  
 年6回 (2012/4/15,6/17,8/19,10/21,12/16,2013/2/17)
3. 地区指導者訓練コースの開設
 

定型訓練	
ボーイスカウト講習会：年3回	2012/6/3,9/2,2013/3/17
安全セミナー	2013/1/13
定型外訓練 (愛知連盟主催)	
プログラムセミナー (BS)	2013/3/3
地区 定型外訓練 : 年7回	
団委員研修会	2012/6/10
救急法講習会	2012/7/8
BVS隊指導者研修会	2012/10/7
CS隊指導者研修会	2012/11/4
DL研修会	2012/12/2
ゲーム・ソング研修会	2013/1/20
野営法研修会	2013/2/16.17

4. 定型訓練参加促進及びその支援

## 行事委員会

---

### 事業目標

- ・スカウトが楽しめ、募集につながる地区行事の開催
- ・海外派遣を知り、海外派遣参加者を増やす。
- ・東海三県連盟合同野営大会(1TC)を成功させる。

### 事業計画

1. 県連行事委員会への出席
2. 地区行事委員会の開催
3. 地区行事の運営、支援  
 緑の羽根募金 2012.04.29

スカウトの日 2012.09.  
カブラリー 2013.03.25

- 4.1TC 実行委員会への参画
- 5.カブラリー実行委員会の設立
- 6.16NJ 実行委員会の設立
- 7.地区備品の整理、リストアップ(カタログ作成)
- 8.海外派遣面接

## 総務委員会

---

### 事業目標

- ① スカウトや指導者の健康や安全に関する対応の検討実施。
- ② 愛知連盟総務委員会と連携し、地区や団への貢献を推進。

### 事業計画

- ①愛知連盟 総務委員会への参画
  - ・愛知連盟総務委員会と連携した事故報告の簡略化と地区財政へ貢献
- ②地区総務委員会の開催
  - ・確認ポイントを明確にした下見の徹底による安全確保の推進
  - ・事故発生時の対処要領を再確認し、全団で共有
- ③その他、何れの委員会に属さない事への対応
  - ・地区救急チーム設立（7月31日）
  - ・地区会計係、事務長への支援

## 尾張東地区ローバース

---

### 事業目標

- ・新規参加者 10 名以上
- ・アクティビティの年間 3 回以上実施
- ・1 ヶ月半前以上の開催案内の配布

### 事業計画

1. 年次総会（4/15）
2. 定例会（4/15・7/21・10/20・2/23）
3. アクティビティ（6/23～24・10/6～7・12/1～2）
4. 奉仕活動（5/3～5・9/ ）
5. 1TC 奉仕者：活動報告

## コミッショナーグループ

---

### 1 地区コミッショナー

#### 事業目標

- ・日本連盟及び県連盟の方針とその規約に従い、地区内のスカウト運動の基準を維持し、その純正な発展に寄与する。
- ・各種行事等の開催、参加等を進め、地区内のスカウト運動の活性化を図る。
- ・スカウト教育の基本に則し、野外活動をプログラムの中心にした隊運営ができる指導者を養成する。

#### 事業計画

1. 研究会的内容の充実したラウンドテーブルを各部門年間6回以上開催
2. カブラリーの開催
3. 各種行事等の実施、参加支援及び組織運営支援
  - ・ 第1回東海三県連盟合同野営大会
  - ・ 地区スカウトフォーラム
  - ・ 海外派遣
  - ・ 地区ローバース
4. リーダートレーナーと連携し定型・定形外訓練に参加する指導者の支援及びスキルトレーニング実施の協力（インサービスサポート〔任務中の支援〕への取組み）
5. 会議等の開催
  - ・ 地区コミッショナー会議 3回
  - ・ コミッショナー・運営委員長会議 3回
  - ・ 加盟登録審査 1回
6. 県連盟地区コミッショナー会議及び研究集会への参加

## 2 団担当コミッショナー

### 事業目標

1. 団担当コミッショナーの個別計画を、地区方針に従って策定して活動する。
2. 団担当コミッショナーで地区内各団の現状を把握し、効果的な対応を企画して団委員長に協力する。

### 事業計画

1. 団訪問の実施
2. 各団の役務分担、事業実施計画策定の支援
3. 加盟登録審査の実施支援
4. 団担当コミッショナー会議の開催 3回

## 事務局

---

### 事業目標

諸会議体等の円滑運営、団委員長会議への全団出席、地区委員会への全役員出席を目指す。

### 事業計画

- ① 愛知連盟 事務長会議への参画  
年3回（未定）
- ② 尾張ブロック会議への参画  
5回（未定）
- ③ 団委員長会議、地区委員会の開催  
年6回
- ④ 地区財政・財務管理、資料管理
- ⑤ 会議資料作成などの事務作業
- ⑥ 県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を図る

一般非公開

(尾張東地区関係者で閲覧希望者は直接事務局会計までご連絡ください)

**第3号議案**

**地区規則一部変更について**

地区規則第3条 【構成】

尾張東地区は、愛知県内の次の地域に所在するすべての加盟団（以下「団」といいます。）をもって構成します。

愛知郡長久手町 を 削除 し 長久手市 を 追加

## 平成24年度 地区役員

役務	氏名	所属
協議会長	横江昭憲	日進第2団
協議会副会長 ☆	佐々由高	犬山第7団
	船橋鐸夫	小牧第1団
	伊吹 登	長久手第1団
地区委員長	井上 勲	小牧第2団
地区副委員長 ☆ ☆	小川 孝	瀬戸第5団
	中村倫之	小牧第1団
	中村友一	北名古屋第2団
地区コミッショナー	中谷 洋	小牧第1団
地区副コミッショナー	BVS 竹内麻美子	長久手第1団
	CS 水谷英一	江南第1団
	BS 山口貴美江	春日井第10団
	VS 岩田秀雅	春日井第3団
	RS 河村武人	北名古屋 第1団
団担当コミッショナー ☆	林 尊浩	瀬戸第6団
	高多宣彰	日進第1団
	小林泰陸	春日井第4団
	串崎武志	春日井第10団
	椎葉育美	江南第3団
	中村里美	北名古屋第2団
組織委員長	田口澄雄	瀬戸第6団
組織副委員長	佐藤慶子	春日井第2団
	板津 尚	犬山第5団
トレーニング委員長	石川保子	江南第1団
トレーニング副委員長	林由美子	尾張旭 第1団
	鈴木覚	春日井第5団
スカウト委員長	中村隆二	春日井第2団
スカウト副委員長	石岡健治	大口第1団
	竹原 謙介	瀬戸第5団
行事委員長	水谷優介	春日井第2団
行事副委員長	間下伸一	清須第1団
総務委員長	引地一憲	長久手第1団
総務副委員長	植手 厚	北名古屋第2団
事務長	平野嘉彦	北名古屋第1団
会計係（副事務長）	前田英昭	春日井第10団
ローバース代表委員	小林 佑	春日井第2団
	石原文裕	北名古屋第1団
	星野 輝	日進第1団
監事	伊藤敏行	江南第4団
	水野 勲	春日井第8団
	加藤 建	瀬戸第6団

☆ 県連役員兼務